

平成30年度

事業報告書

平成31年3月31日

社会福祉法人 福岡県共同募金会

目 次

事業の概要	1
1 法人の運営	2
2 市区町村支会の支援	2
3 広報活動の強化	2
4 募金推進への取組	4
5 募金実績及び募金活動の取組	5
6 適正かつ効果的な配分の実施	8
7 社会福祉協議会との連携強化	9
8 顕彰の実施	9
9 災害復興に対する支援	10
10 受配者指定寄付金の普及と活用促進	12
11 公益補助事業等への協力	12
事業報告附属明細書	13

事業の概要

近年の社会経済状況の変化に伴い、共同募金運動を取り巻く環境は厳しさが増しており、本県の募金実績は、全国と同様にピーク時の7割程度にまで落ち込み、依然、減少傾向が続いている。また、平成29年に続き発生した平成30年7月豪雨の影響により、被災地を中心に募金実績の減少等が懸念された。

このような状況のもと、各市区町村支会においては、役職員はもとより、ボランティアの方々にも協力をいただきながら、募金実績の7割以上を占める戸別募金の確保に向け様々な取組を行うこととした。更には法人募金や職域募金の新規開拓、「赤い羽根自販機」の設置推進等にも積極的に取り組んだ結果、県内の募金実績の減少は最小限にとどめることができた。

また、共同募金運動創設70年を契機に平成29年度末に策定した「福岡県における共同募金運動の方向性と推進方策」について、各支会役職員を対象とする会議・研修会や本会職員による個別訪問等を通じ、内容の一層の理解と認識の共有化に努めた。

広報活動については、本年度から新たに、福岡ソフトバンクホークスの上林誠知選手と石川柊太選手に赤い羽根応援大使として協力いただくとともに、福祉教育の一環として取り組んでいる赤い羽根キャッチフレーズ募集にも積極的に取り組み、県内の児童・生徒から5,383点の作品を応募いただいた。

こうした様々な取組を通じて県民の皆様から寄せられた一般募金及び歳末たすけあい募金の配分に当たっては、社会福祉法第115条に基づく配分委員会を設置することとされており、外部有識者も加わった同委員会において、申請施設・団体の調査及び審査を実施し、公正な配分を執り行った。

平成30年7月豪雨災害に対しては、福岡県、日本赤十字社福岡県支部と連携して、被災地支援のための義援金募集に取り組んだ。加えて、福岡県内の2市2カ所に設置された災害ボランティアセンターの運営支援のため、毎年、募金の一定割合を積み立てている災害等準備金を活用することにより、福岡県社会福祉協議会と協働した被災地復興支援に積極的に取り組んだ。

本年度の具体的な取組は、次のとおりである。

1 法人の運営

(1) 評議員会の開催（2回）

第207回評議員会 (定時評議員会)	平成30年 6月25日	春日市
第208回評議員会	平成31年 3月20日	春日市

(2) 理事会の開催（2回）

第340回理事会	平成30年 6月 8日	春日市
第341回理事会	平成31年 3月 7日	春日市

(3) 監事会の開催（1回）

監事会	平成30年 5月25日	春日市
-----	-------------	-----

(4) 評議員選任・解任委員会の開催（1回）

評議員選任・解任委員会	平成30年 6月 8日	春日市
-------------	-------------	-----

2 市区町村支会の支援

(1) 会議等の開催

ア 支会会長・事務局長会議	平成30年 7月23日	春日市	82名
イ 新任者研修会	平成30年 4月27日	春日市	21名
ウ 担当職員研修会	平成30年 8月31日	春日市	37名

(2) 個別支援の実施

- ア 市区町村支会の各種会議・研修会等への本会職員の派遣（6市区町）
- イ 市区町村支会への本会職員による個別訪問（18市区町村）

3 広報活動の強化

(1) 赤い羽根データベースシステム「はねっと」による情報公開の推進

インターネットによるデータベースシステムを活用し、配分使途等の情報を公開した。

(2) 福岡県共同募金会ホームページによる情報公開の推進

本会ホームページにおいて、共同募金運動等の情報を公開した。

(3) 赤い羽根応援大使等による広報啓発

福岡ソフトバンクホークスの全面的な協力のもと、上林 誠知選手、石川 柊太選手に赤い羽根応援大使（以下、応援大使）に就任いただき、ポスター・チラシ・パンフレットへの写真掲載や募金活動を通して、共同募金運動のPRに協力いただいた。

共同募金運動啓発のため、応援大使の出席のもと、ポスター等の一般公開と本年度の募金推進キャッチフレーズの記者発表会を実施した。また、福岡ソフトバンクホークス「ファンフェスティバル2018」において、応援大使の2人から直接共同募金運動への協力を呼びかけていただいた。

ア 記者発表会

期 日 平成30年 8月29日

場 所 福岡ヤフオク！ドーム内 プレスカンファレンスルーム

イ 募金活動

期 日 平成30年11月25日

場 所 福岡ヤフオク！ドーム 3ゲート外

さらに、平成25年度から作製している球団マスコット（ハリーホーク）と赤い羽根がコラボレーションしたバッジを本年度も作製し、広報活動を強化した。

(4) 広報活動の推進

ア 広報啓発資材の活用

(ア) 全戸配布チラシの作成・配布及び裏面活用（地域版）の推進
前年度の募金配分結果及び今年度の募金への協力依頼を掲載

a 作成・配布 951,040部

b 裏面活用 63支会

(イ) 街頭募金用チラシの作成・配布

a 作成・配布 52,100部

b 活 用 31支会

(ウ) 共同募金パンフレットの作成・配布

a 作成・配布 23,700部

b 活 用 51支会

(エ) 共同募金リーフレットの作成・配布

a 作成・配布 12,000部

b 活 用 25支会

(オ) 共同募金ボランティアハンドブックの作成・配布

a 作成・配布 33,700部

b 活 用 48支会

(カ) 募金運動啓発ポスターの作成・掲示

a 作成・配布 17,260枚

b 掲 示 先 県内の学校、社会福祉施設、社会福祉協議会、銀行等

イ 封筒の裏面活用

本会封筒の裏面を活用し、配分使途等の情報を広く周知した。

作成数 12,500部

(3) 赤い羽根自販機の設置促進

売上の一部が募金される自動販売機「赤い羽根自販機」の設置を促進し、本年度は7市町に15台の赤い羽根自販機が新たに設置された。

※赤い羽根自販機設置状況 51市町 391台（平成31年3月31日現在）

(4) 募金百貨店プロジェクトの普及・啓発

売上の一部が募金される寄付つき商品「募金百貨店プロジェクト」の普及・啓発に努め、各支会・企業等と共同して開発等を行った結果、本年度は、新たに5社の寄付つき商品が誕生した。

※協力企業・事業所数 14市町 115社（平成31年3月31日現在）

5 募金実績及び募金活動の取組

(1) 目標額及び実績額

ア 一般募金

目標額は、各支会の前年度（平成29年度）実績額とした。

(ア) 目標額 624,974,078円

(イ) 実績額 623,481,236円

イ 歳末たすけあい募金

目標額は、各市区町村社会福祉協議会の申請額をもとに募金計画を作成し、運動を展開した。

(ア) 目標額 99,425,522円

(イ) 実績額 100,871,048円

a NHK歳末たすけあい募金（県域） 16,888,716円

協力企業・団体…NHK福岡放送局・NHK北九州放送局・福岡銀行・西日本シティ銀行・筑邦銀行・福岡中央銀行・北九州銀行・福岡県信用農業協同組合連合会・福岡県信用漁業協同組合連合会・西日本新聞民生事業団

b 地域歳末たすけあい募金 83,982,332円

※地域歳末たすけあい運動実施支会 34支会

ウ 地域課題解決型募金（テーマ型募金）

目標額は、団体が用途計画を作成する際の申請額に事務経費等を加えた額とした。

(ア) 目標額 1,090,000円

(イ) 実績額 132,412円

エ 実績額合計 724,484,696円

※平成29年度募金実績 726,529,418円

ウ 福岡県社会福祉協議会広報誌による広報

県社協広報誌「ふくおかのふくし」(20,000部発行、3,907カ所に年6回配布)に共同募金の取組に関する記事を掲載し、県民の方々へ理解と協力を求めた。

エ マスコミによる広報推進

共同募金運動に係る各種イベント開催や新規取組など、資料提供や取材依頼を行い新聞・テレビ・ラジオ等の協力による広報活動を展開した。

(5) 福祉教育の推進

共同募金運動や社会福祉全般についての県民の理解促進や福祉教育の一環として、福岡県、北九州市、福岡市の各教育委員会の後援のもと、児童・生徒に対し、募金運動推進キャッチフレーズを公募した。

また、最優秀作は、本年度の運動推進のキャッチフレーズとして活用した。

ア 募集期間

平成30年 4月23日から 6月 6日まで

イ 選考

第1回共同募金推進委員会(平成30年 6月27日)

ウ 応募総数

5,383点(小学校11校・中学校12校・高校7校・特別支援学校4校の計34校)

エ 入選作品及び特別賞

(ア) 最優秀作 「赤い羽根 幸せつくる あいことば・・・赤い羽根共同募金」
松尾 駿太朗さん(糸島市立志摩中学校1年・糸島市)

(イ) 優秀作 12作品

(ウ) 特別賞 24校

オ 表彰

最優秀作受賞者は、福岡県社会福祉大会表彰式において表彰を行った。

また、優秀作受賞者及び特別賞受賞校は、該当支会代表者ととともに各学校を訪問し、表彰状の授与を行った。

4 募金推進への取組

(1) 共同募金推進委員会の開催

第1回 平成30年 6月27日 春日市

第2回 平成31年 3月 1日 春日市

(2) 市区町村支会モデル指定事業の実施

共同募金の実績向上を図るため、福岡市支会・田川市支会・八女市支会・築上町支会をモデル指定し、地域の実情に応じ、協働して新たな取組を行った。

オ 募金方法別実績

(単位 円)

募金方法	一般募金		歳末たすけあい募金		テーマ型募金	
	金額	割合	金額	割合	金額	割合
戸別募金	449,528,063	72.10%	73,220,840	72.59%		
街頭募金	5,352,509	0.86%	1,009,034	1.00%		
法人募金	83,611,069	13.41%	4,787,506	4.75%		
学校募金	3,968,418	0.64%	178,719	0.18%		
職域募金	11,593,176	1.86%	2,847,900	2.82%		
イベント募金	2,990,275	0.48%	130,160	0.13%		
バッジ募金	3,578,432	0.57%				
クオカード募金	13,194,594	2.12%				
図書カード募金	6,360,540	1.02%				
ボールペン募金	3,143,085	0.50%				
個人募金	17,273,529	2.77%	15,160,735	15.03%	12,000	9.06%
自販機募金	11,524,725	1.85%				
寄付つき商品	759,945	0.12%				
その他	10,602,876	1.70%	3,536,154	3.50%	120,412	90.94%
合計	623,481,236	100.00%	100,871,048	100.00%	132,412	100.00%

(2) 一般募金の取組

ア 街頭募金・啓発等

(ア) 本 会

a 赤い羽根空の第一便伝達式

72回目を迎えた共同募金運動の始まりを広く県民に周知することを目的に、空の第一便(全日空)が届けた赤い羽根や厚生労働大臣、中央共同募金会会長メッセージを、福岡県知事及び本会会長等に伝達いただいた。

(a) 期 日 平成30年10月 1日

(b) 場 所 ソラリアターミナルビル1階 ライオン広場(福岡市中央区)

b 初日街頭募金

伝達式終了後、西鉄福岡(天神)駅周辺でボランティア61名の協力を得て、初日街頭募金を行った。

また、当日は、にしてつグループの協力のもと、西鉄福岡(天神)駅をはじめ、西鉄電車主要各駅の駅員の皆さんと西鉄グランドホテル及びソラリア西鉄ホテルの接客スタッフ、にしてつストアスタッフが「赤い羽根」を胸に着け、共同募金運動の開始をアピールいただいた。

(イ) 支 会

県内の47支会で、延べ271回の街頭募金を行い、協力を呼びかけた。

イ 募金資材の活用

(ア) 着ぐるみ（愛ちゃんと希望くん）の貸出し

31回（延べ43体）の着ぐるみを貸出し、広報啓発に活用した。

(3) 歳末たすけあい募金の取組

「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに歳末たすけあい募金を県下一斉に展開した。

ア 街頭募金・啓発等

(ア) 本 会

a 初日街頭募金

歳末たすけあい運動の始まりを県民に周知することを目的に、ボランティア65名の協力を得て初日街頭募金を行った。

(a) 期 日 平成30年12月 1日

(b) 場 所 西鉄福岡（天神）駅周辺（福岡市中央区）

b NHK歳末たすけあい開始セレモニー等

NHK福岡放送局及び同北九州放送局が実施した開始セレモニーに参加するとともにそれぞれの放送局に募金受付の窓口を設置して協力を呼びかけた。

(a) 開始セレモニー

・NHK福岡放送局 平成30年12月 1日

・NHK北九州放送局 平成30年12月 3日

(b) 募金受付窓口の設置

・NHK福岡放送局 平成30年12月 1日から25日まで

・NHK北九州放送局 平成30年12月 1日から25日まで

(イ) 支 会

県内の7支会において歳末たすけあい募金の街頭募金を行った。

(4) 地域課題解決型募金（テーマ型募金）の取組

「福岡県内（広域）における地域や社会課題解決に向けて取り組む事業」を対象事業とし、下記参加団体と本会が1月から3月に募金活動を展開した。

ア 参加団体

(ア) 特定非営利活動法人いるかねっと

a テ ー マ

無料学習塾を25か所に増設！福岡の塾に通えない子どもを0（ゼロ）に！

イ 振込用紙付きチラシの作成・配布

ゆうちょ銀行振込用紙付きチラシを5,000枚作成し、団体の関係者や知人等へ配布した。

6 適正かつ効果的な配分の実施

(1) 配分委員会の開催

第1回	平成30年	6月	1日	春日市
第2回	平成31年	2月	5日	春日市
第3回	平成31年	2月	25日	春日市

(2) 配分調査

配分委員会委員による配分調査の実施

ア 件数 23件

イ 期間等 平成31年2月7日から2月18日までの間に延べ8人の配分委員と事務局職員が配分調査を実施した。

(3) 配 分

配分委員会委員による調査及び厳正な審査を行い、社会福祉施設・団体・社会福祉協議会等への本年度の配分を次のとおり決定した。

なお、B枠及び地域歳末たすけあい募金については、支会の配分計画に基づき配分し、NHK歳末たすけあい募金については、歳末事業費、活動支援金、見舞金として配分した。

ア 一般募金

(ア) A枠（地域の施設・団体）配分

・配分件数	23件
・配分総額	32,070,000円

(イ) B枠（地域）配分

・配分件数	80件
・配分総額	469,291,500円

イ 歳末たすけあい募金

(ア) NHK歳末たすけあい募金配分（地域）

・配分件数	440件
・配分総額	12,312,000円

(イ) 地域歳末たすけあい募金配分

a 地域福祉・在宅福祉サービス事業

・配分件数	5,109件
・配分総額	70,560,111円

b 見舞金贈呈事業

・配分件数	3,758件
・配分総額	13,379,502円

平成30年度共同募金配分総括表

(単位 円)

配分枠		配分額
一般募金	A 枠	32,070,000
	B 枠	469,291,500
歳末たすけあい募金		96,251,613
合 計		597,613,113

※平成29年度地域課題解決型募金（テーマ型募金）配分

配分額 417,732円（平成30年6月25日配分決定）

(4) 公 告

社会福祉法第120条（結果の公告）に基づき、平成29年度（平成30年度事業）募金実績、配分内容等を掲載した機関誌「赤い羽根共同募金」を4,400部作成し、関係機関・団体に配布した。

また、本会ホームページに機関誌「赤い羽根共同募金」を掲載し、公開した。

7 社会福祉協議会との連携強化

(1) 福岡県社会福祉協議会との共催による福岡県社会福祉大会の開催

福岡県社会福祉大会 平成30年10月22日 春日市 1,096名

(2) チャリティー福引きの実施による募金の受入れ

第18回福岡県ねりんスポーツ・文化祭において、企業・団体等の協賛を得て福岡県社会福祉協議会が実施したチャリティー福引きの収益金全額を共同募金として受け入れた。

チャリティー福引き 平成30年11月23日 糸島市

8 顕彰の実施

(1) 福岡県共同募金会会長表彰・感謝

ア 顕彰選考委員会の開催

平成30年 8月 6日 春日市

イ 福岡県社会福祉大会において次のとおり顕彰を行った。

(ア) 会長表彰 16名・4団体

(イ) 優秀地区（支会）表彰 21支会

(ウ) 会長感謝 84名・18団体

ウ 篤志寄付者に対する感謝を次のとおり行った。

(ア) 会長感謝 5名・74団体

(2) 中央共同募金会会長表彰・感謝

ア 中央共同募金会顕彰規程に基づく奉仕功労者表彰、従事功労者表彰及び篤志寄付者への感謝の推薦を行い、次のとおり決定した。

- | | |
|---------------|--------|
| (ア) 会長表彰 | 5名 |
| (イ) 会長感謝（感謝楯） | 2名・5団体 |
| (ウ) 会長感謝（感謝状） | 3名・9団体 |

(3) 厚生労働大臣表彰・感謝

ア 厚生労働大臣表彰実施要領及び感謝状贈呈要綱に基づく共同募金運動奉仕者、奉仕団体表彰及び共同募金会に多額の寄付を行った者への感謝の推薦を行い、次のとおり決定した。

- | | |
|----------|--------|
| (ア) 大臣表彰 | 1団体 |
| (イ) 感謝状 | 1名・1団体 |

9 災害復興に対する支援

(1) 平成29年7月5日からの大雨災害の取組

平成29年7月の豪雨災害で被災された方々を支援するため、福岡県及び日本赤十字社福岡県支部と協力し、平成29年7月10日から、「平成29年7月からの大雨災害義援金」を募集した。

ア 募集期間 平成29年 7月10日から平成31年 3月29日

イ 義援金額 1,651,918,599円（平成31年3月31日現在、本会取扱分のみ）

(2) 平成30年7月大雨災害の取組

平成30年7月の大雨災害で被災された方々を支援するため、福岡県及び日本赤十字社福岡県支部と協力し、平成30年7月18日から、「平成30年7月福岡県豪雨災害義援金」を募集した。

ア 募集期間 平成30年 7月18日から平成31年 3月29日

イ 義援金額 82,367,799円（平成31年3月31日現在、本会取扱分のみ）

(3) 災害等準備金の運用

災害等準備金は、社会福祉法の規定に基づく全国の申合せにより常に3年間分を積み立てており、平成30年度は、平成27年度から平成29年度の積立金を準備金とした。

ア 災害等準備金の取り崩し

3年間を経過した積立金については取り崩しを行い、平成30年度に再配分した。

平成30年度取崩金 8,573,715円（平成26年度積立分）

イ 災害等準備金の拠出

平成30年7月からの大雨災害の被災地における災害ボランティアセンターの支援等のため、平成27年度積立分の一部を拠出した。

災害等準備金拠出額 1,502,431円

ウ 災害等準備金の積み立て

災害支援制度運営要綱に基づき、平成30年度募金総額の3%を災害等準備金として積み立てた。

(ア) 平成30年度積立金 21,734,510円

(イ) 災害等準備金積立額 86,645,785円 (平成31年3月31日現在)

(4) 他都道府県災害義援金募集

他都道府県で募集が開始された災害義援金について、各市区町村支会及び福岡県庁、福岡県社会福祉協議会に対し募集の協力依頼を行うとともに、本会ホームページに募集要項を掲載し、周知に努めた。

ア 平成28年熊本地震義援金

平成28年 4月15日から令和 2年 3月31日まで

イ 平成30年大阪府北部地震義援金

平成30年 6月22日から平成30年 9月28日まで

ウ 平成30年米原市竜巻災害義援金 (滋賀県)

平成30年 7月 6日から平成30年 9月28日まで

エ 平成30年7月豪雨岡山県災害義援金

平成30年 7月10日から令和 元年 6月28日まで

オ 愛媛県豪雨災害義援金

平成30年 7月11日から令和 元年 6月30日まで

カ 平成30年7月広島県豪雨災害義援金

平成30年 7月12日から令和 元年 6月28日まで

キ 平成30年7月豪雨災害義援金

平成30年 7月10日から令和 元年 6月28日まで

ク 平成30年7月岐阜県豪雨災害義援金

平成30年 7月11日から平成30年 9月28日まで

ケ 平成30年7月豪雨高知県災害義援金

平成30年 7月13日から平成30年 9月28日まで

コ 山口県平成30年7月豪雨災害義援金

平成30年 7月20日から平成30年12月28日まで

サ 平成30年7月豪雨島根県災害義援金

平成30年 7月20日から平成30年 9月28日まで

シ 兵庫県平成30年7月豪雨災害義援金

平成30年 7月26日から平成30年10月31日まで

ス 平成30年北海道胆振東部地震災害義援金

平成30年 9月12日から令和 元年 9月30日まで

10 受配者指定寄付金の普及と活用促進

中央共同募金会の審査結果に基づき決定した寄付金を受け入れ、指定された事業に配分した。

ア 寄付額 7件 1,468,985,094円

イ 配分額 7件 1,458,292,821円

11 公益補助事業等への協力

(1) 平成30年度中央競馬馬主社会福祉財団助成事業

本会が推薦を行った助成事業は、下記のとおり決定した。

・件数 7件

・助成額 10,770,000円

施設整備費目録贈呈式 平成30年11月26日 北九州市小倉北区

(2) 平成30年度車両競技公益資金記念財団助成事業

本会が推薦を行った助成事業は、下記のとおり決定した。

ア 高齢者、障害者の支援を目的とするボランティア活動に対する助成事業

・件数 10件

・助成額 2,678,800円

(3) 「24時間テレビ」福祉車両贈呈事業

日本テレビやFBS福岡放送をはじめ、チャリティー加盟各社（全国31の放送事業者）が行う「24時間テレビ 福祉車両寄贈事業」について、市町村社協を通じ各施設・団体・個人への周知等に努めた。

福祉車両贈呈式 平成31年 3月 4日 FBS福岡放送局（福岡市中央区）

事業報告の附属明細書

平成30年度事業報告には、「社会福祉法施行規則」第2条の25第3項に規定する附属明細書（事業報告の内容を補足する重要な事項）が存在しないので作成しない。

